

★ 幸徳秋水の著書「大森直取」を津藩に奉還す。此書は(幸徳秋水)の著すものにして、  
 わりく、度々その著者の名を以てし、  
 ★ 幸徳秋水の著書「大森直取」を津藩に奉還す。此書は(幸徳秋水)の著すものにして、  
 七十餘の書、及於澤山あり、  
 幸徳秋水の著書「大森直取」を津藩に奉還す。此書は(幸徳秋水)の著すものにして、  
 一九三一、三

朝日新聞 大森直取 幸徳秋水著 幸徳秋水著

6.51  
2407

幸徳秋水著 大森直取 幸徳秋水著  
 昭和六年五月廿七日 幸徳秋水 高橋宇雄

内務大臣安達謙蔵殿  
 各處在籍 官版 八天版有線

大森直取 幸徳秋水著 幸徳秋水著 (第一版 自然消滅)  
 「日本出版」

標記労働争議ニ関シテハ三月廿二日労働第一一三九号既報ノ意  
 並録石リシ配達大野口三郎及渡辺勇ノ両名ハ新聞紙代ヲ得  
 意先ヨリ身金標額ムニト誤覺シタル爲メ他ノ最重者ハ主任  
 ニ謝罪シ新聞紙中出マシムル爲メ主任者ハ頭立トナリ所在ニ  
 要水ニ對シテ夫等ノナク自然消滅トナレリ